

★マドゥーロの退陣が交渉の条件＝米国務省報道官

米国務省のオルタグス報道官は5月25日、ノルウェーの仲介でおこなわれているベネズエラの与野党交渉について以下の声明を発表した。

米国は、民主主義を回復して違法なマドゥーロ政権を終わらせたいというベネズエラ国民の願いを支持している。政権の終焉と自由選挙についてのこれまでの交渉の努力は失敗した。それは政権が（交渉を）野党の分断と時間稼ぎに使ってきたためである。

暴君による監視の下では自由選挙はできない。我々が繰り返し述べてきたように、米国はニコラス・マドゥーロとの交渉はただ退陣の条件だけだと考える。オスロでの協議がその目的に焦点を当てることを願っており、もしそうであれば、進展できるように願う。

ベネズエラで最後まで残されている民主的機関である国会のエドガー・ザンブラノ第一副議長が逮捕され失踪してから今日で17日目を迎えることに注意を喚起したい。同氏は拘禁されて以来、家族や弁護士と連絡が取れていない。所在地も不明である。今日はまたグアイド暫定大統領の弁護士兼首席補佐官であるロベルト・マレノ氏が投獄されてから2ヶ月以上になる。この2人は5月20日現在でマドゥーロ政権に拘束されている800人の政治囚のうちの2人にすぎない。

我々は、ベネズエラの民主主義を支持する世界中の人々とともに、マドゥーロ政権による違法な投獄を非難し、かれらの即時釈放を要求する。

（以上）